

令和6年度 第3回

進路説明会



令和7年3月17日(月)

14:10~14:55

川崎市立東高津中学校 体育館

説明会次第

- 1 学校長あいさつ
- 2 今年度の進路について
 - ①進路の基本的な考え方
 - ②今年度の主な進路日程
 - ③中学校卒業後の進路
 - ・進路の種類
 - ・公立高等学校について
 - ・私立高等学校について
 - ④進路選択を始めるにあたって
- 3 質疑応答

1 進路の基本的な考え方

中学校卒業とともに、生徒のみなさんは9年間の義務教育を終えます。「義務教育」とは、社会で生きていくために必要な力を身に付ける教育で、保護者の方が生徒のみなさんに9年間の普通教育を受けさせる義務があるものです。つまり、中学校卒業後、生徒のみなさんは自分の力で歩いていくことになります。だからこそ、自分の将来をしっかりと考え、これからの進路を決定していく必要があります。

中学校卒業後の進路は大きく分けて、「進学」または「就職」の2つの道に分かれます。

「進学」の場合、高等学校や高等専門学校、各種学校、専修学校など、自分の適性・興味などに応じて幅広い選択肢があります。「就職」の場合も自分の適性などから職種を考えます。

どちらの場合も大切なことは、「自分の意志で進路を選択する」ということです。そうすることで目標ができ、その目標に向かって努力することができます。

しかし、中学生は自分一人ですべてを選択したり決定したりできません。保護者の方の支援があるからこそ、未来へ歩むことができます。自分を最も支援してくれ、また人生の先輩でもある保護者の方としっかりと話し合い、相談したり意見を聴いたりしながら進路を選択・決定していただく。

保護者のみなさまには、お子様の気持ちを受け止めつつ、興味や適性、長所、特技などが生かされ、これからたくましく生きていくためのサポートをお願いいたします。

今後は、進路決定に向けた動きが加速します。初めて自分の進路と向き合うことに不安や焦りが生じることもあるでしょう。そんなときに大切なことは「今やるべきこと」をしっかりと行うことです。「継続は力なり」という言葉のとおり、日々の授業や家庭での学習を大切にすることで着実に力がつきます。また、部活動や委員会活動、校外の活動などに全力で取り組むことは、達成感と自信につながります。よく「不安だから睡眠時間を削って深夜まで勉強する」「やるべきことをやらずに勉強だけする」ということを聞きますが、追い込まれた状態での勉強は、体調面にも精神面にも悪循環をもたらします。「今やるべきこと」をしっかりと見極め、時間を計画的に活用していくことこそ、目標に近づく近道です。今からでも大丈夫です。ぜひ、自分の生活を見直し、取り組んでいきましょう。

中学校では、生徒一人一人が希望の進路へ進めるように「進学指導」ではなく、将来を見据えた「進路指導」を行います。進路指導に関しては、学年職員を中心に学校全体で行います。学級担任が窓口となり、生徒や保護者の方と相談を進めていきます。わからないこと、不安に思っていることがあれば、遠慮なくご相談ください。

2 今年度の主な進路日程

月	学校行事予定・主な進路日程	生徒・保護者の方の動き
6	前期中間テスト <u>第1回進路希望調査 配付・回収</u> 第1回進路説明会	<ul style="list-style-type: none"> ■自分の夢や得意なこと、適性などから、卒業後の進路について考え、進路に関する情報を収集してください。（受験情報誌、HP、パンフレット等） ■大まかな進路先を考えてください。 例 公立または私立・・・普通科または専門学科など 
7	三者面談 ※公立高校募集案内配付	
8	夏休み 公・私立高校説明会、体験	■夏休みに1回は説明会や体験授業に参加してください。
9	前期期末テスト 私立高等学校募集要項、推薦基準など順次決定 第2回進路説明会	<ul style="list-style-type: none"> ■前期評価を参考に進路先を絞り、学校説明会や見学会・体験授業、文化祭などに参加してください。 ※公立高校を希望する場合は、私立の併願校についても検討し、説明会に参加してください。
10	公立高校 web 出願練習（練習サイト） 前期評価・評定通知 <u>第2回進路希望調査 配付・回収</u> 進路用写真撮影（学校にて撮影） 第1回進路面談	<ul style="list-style-type: none"> ■国立、私立高校は説明会にて学校案内や募集要項、願書や推薦書などを入手してください。 ■参加した学校説明会や前期の成績などを考え、志望校を数校に絞ってください。
11	後期中間テスト <u>第3回進路希望調査 配付・回収（最終）</u> 「公立高校志願の手引き」配付 進路用評価・評定通知	<ul style="list-style-type: none"> ■進路用成績をもとに、志望校を決定してください。 ※志望校は、必ず見学してください。
12	第2回進路面談（最終決定） <u>調査書等作成願配付(面談翌日提出)</u> 公立高校 web 出願登録開始（本番サイト） 面接練習開始 私立高等学校入試相談	<ul style="list-style-type: none"> ■第2回進路面談で進路希望先を最終決定してください。 ■私立高校の推薦や併願による受験では、多くの場合「入試相談」を実施します。入試相談は、中学校の教員が高校に相談する形式で行われます。 ■国立、私立の募集要項のコピー・調査書・推薦書等を担任に手渡ししてください。調査書・推薦書は、担任が預かり作成します。
1	私立高校推薦 出願・入試・発表 私立高校一般 出願 公立高校 web 出願（本番サイト）	■公立高校および私立高校の多くは Web 出願です。各ご家庭でミスのないように手続きをしてください。
2	学年末テスト 公立高校志願変更 私立高校一般 入試・発表 公立高校共通選抜 学力検査／特色検査 公立高校共通選抜 追検査 公立高校共通選抜 合格発表	<ul style="list-style-type: none"> ■私立の併願校については、延納手続き（入学金などの支払いを公立高校合格発表後まで延ばす手続き）の有無や方法についてご確認ください。 ■公立・国立・私立ともに、進路決定後は期日までに速やかに入学手続きを行ってください。
3	公立高校全日制二次募集出願 公立高校定通分割選抜出願 卒業証書授与式 公立高校全日制二次募集入試・発表 公立高校定通分割選抜入試・発表 公立高校定通分割二次募集出願 公立高校定通分割二次入試・発表	<ul style="list-style-type: none"> ■二次募集は定員に満たない学校で実施されます。二次募集は志願時において国公立高校の合格者になっていない者のみ志願資格を有します。 ■県立川崎高校と市立川崎高校を含む<u>昼間定時制</u>高校では定通分割選抜は行われません。

卒業生の主な進路

公立（神奈川県立）

麻生高等学校
生田高等学校
荏田高等学校
川崎高等学校
港北高等学校
光陵高等学校
新城高等学校
大師高等学校
新羽高等学校
大和高等学校

麻生総合高等学校
生田東高等学校
神奈川工業高等学校
川崎北高等学校
川崎工科高等学校
相模原弥栄高等学校
菅高等学校
田奈高等学校
向の丘工業高等学校
百合丘高等学校

麻溝台高等学校
市ヶ尾高等学校
神奈川総合高等学校
川和高等学校
希望ヶ丘高等学校
城郷高等学校
住吉高等学校
多摩高等学校
元石川高等学校
横浜修悠館高等学校

公立（川崎市立）

川崎高等学校
高津高等学校

川崎総合科学高等学校
橘高等学校

幸高等学校

公立（横浜市立）

東高等学校

横浜サイエンスフロンティア高等学校

私立（推薦・専願・併願・一般）

青山学院高等部
英理女子学院高等学校
大森学園高等学校
関東国際高等学校
国学院高等学校
駒澤大学高等学校
品川学藝高等学校
杉並学院高等学校
専修大学附属高等学校
橘学苑高等学校
中央大学附属横浜高等学校
桐光学園高等学校
東京高等学校
トキワ松学園高等学校
日本学園高等学校
日本体育大学荏原高等学校
白鵬女子高等学校
藤沢翔陵高等学校
法政大学国際高等学校
明治大学附属中野高等学校
目黒日本大学高等学校
横浜高等学校
横浜創学館高等学校

麻布大学附属高等学校
桜美林高等学校
科学技術学園高等学校
佼成学園女子高等学校
国際基督教大学高等学校
駒場学園高等学校
品川翔英高等学校
成城学園高等学校
大東学園高等学校
玉川聖学院等学校
鶴見大学附属高等学校
東海大学附属相模高等学校
東京実業高等学校
東洋女子高等学校
日本工業大学駒場高等学校
日本大学高等学校
羽田国際高等学校
武相高等学校
法政大学第二高等学校
明星高等学校
八雲学園高等学校
横浜商科大学高等学校
横浜隼人高等学校

岩倉高等学校
大西学園高等学校
柏木学園高等学校
光明学園相模原高等学校
駒沢学園女子高等学校
相模女子大学高等部
自由ヶ丘学園高等学校
青稜高等学校
立川女子高等学校
多摩大目黒高等学校
桐蔭学園高等学校
東海大学附属高輪台高等学校
東京都市大学等々力高等学校
二松学舎大学附属高等学校
日本女子大学附属高等学校
日本大学藤沢高等学校
フェリシア高等学校
文教大学附属高等学校
朋優学院高等学校
目黒学院高等学校
山手学院高等学校
横浜清風高等学校
早稲田実業学校

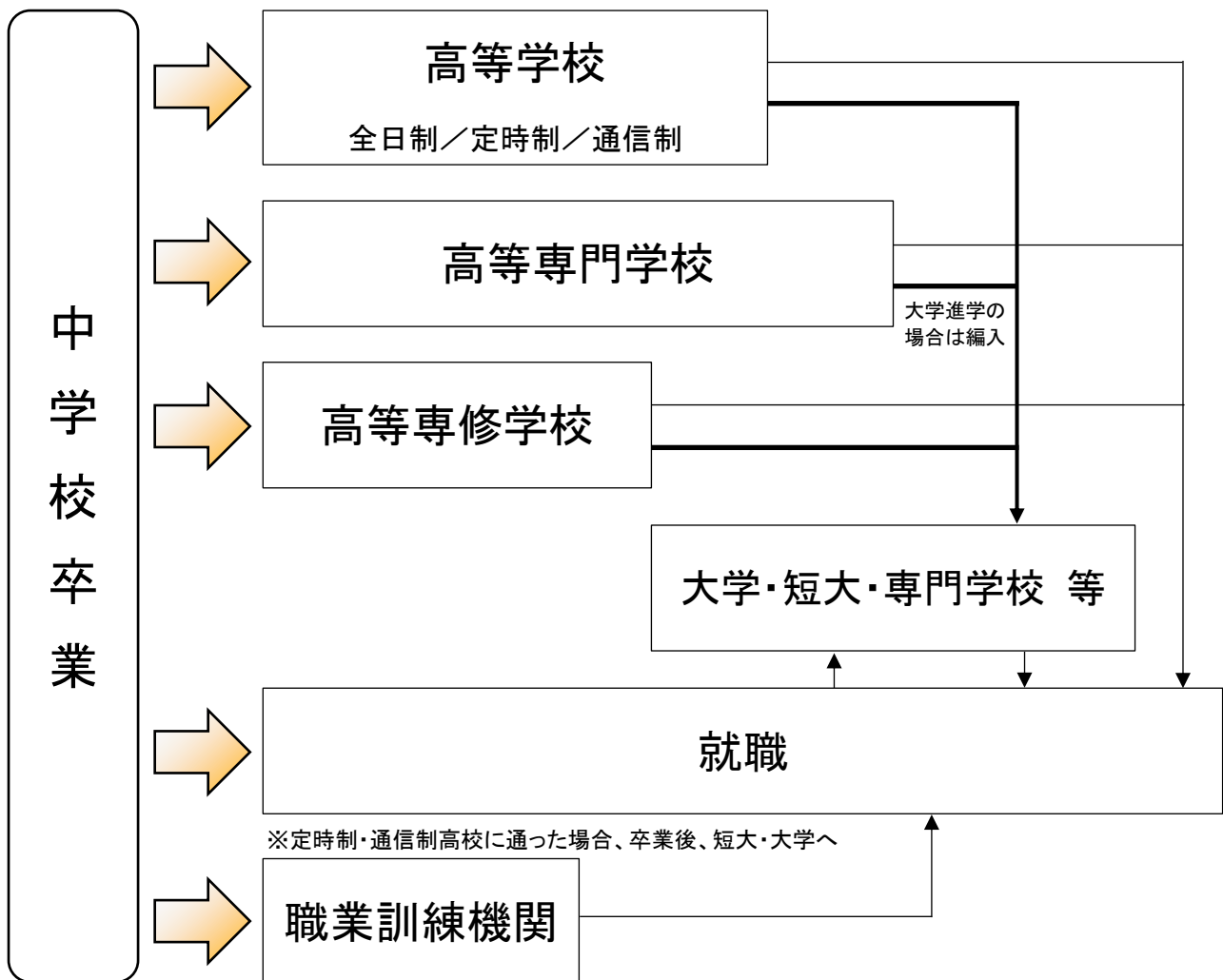
特別支援学校・広域通信制・技能連携校(サポート校)・高等専修学校 など

中原支援学校
飛鳥未来高等学校
N 高等学校
星槎国際高等学校
ヒューマンパノラのぞみ高等学校
中央高等学院

高津支援学校
飛鳥未来きずな高等学校
鹿島学園高等学校
第一学院高等学校
四谷学院高等学校
バンタンゲームアカデミー

中央支援学校
S 高等学校
クラーク記念国際高等学校
屋久島おおぞら高等学校
ルネサンス高等学校
野田鎌田学園横浜高等専修学校

3 中学校卒業後の進路



1. 進学

高等学校

全日制・定時制・通信制の各課程があります。全日制は、昼間に通学し、3年間で卒業します。定時制は通常、夜間に授業を受けて4年間で卒業しますが、昼間に授業を受けられたり、3年間で単位を取って卒業できたりする学校もあります。通信制は、自宅でレポートを作成して提出し、決まった期間だけ通う学校と、通いながら単位をとる学校があります。

また、**学年制**と**単位制**があります。学年制は、学年の区分があり、1年ごとに必要な単位数を修得して進級し、卒業します。単位制は、学年という区分がなく、必要な単位を3年間の中で修得することで卒業できます。

学科は、**普通科**、**専門学科**、**総合学科**などがあります。普通科は、国語、社会、数学、理科、英語などの普通教科を重点に学習します。専門学科は、普通教科と1つの分野の専門科目を学習します。総合学科は、普通教科と専門教科を様々な科目の中から選択して幅広く学習します。

高等専門学校

実践的・創造的技術者を養成することを目的とした高等教育機関です。5年間で、短期大学卒業の資格まで取ることができ、専攻科への進学のほか、大学に編入することもできます。一般科目と専門科目をバランスよく配置した教育課程により、技術者に必要な豊かな教養と体系的な専門知識を身に付けることができます。学科は工業系と商船系に分かれています。

高等専修学校

職業に必要な能力を育成することを目的とする学校で、工業、医療、衛生、商業実務、服飾・家政、文化・教養の部門などの専門教育を行っています。これらの高等専修学校の中には、通信制高等学校と連携し、専修学校に入学すると同時に高等学校にも入学できる学校が多くあるため、修業年限の3年が終わると高等学校卒業の資格も取ることができます。また、高等学校卒業資格ではありませんが、大学入学資格制度を持っている学校もあります。

上記の中には、就職しながら学ぶことができる高等学校もあります。また、中学校時代の成績や出席状況にこだわらずに門戸を開いている技能連携校(高等専修学校)やサポート校では、通信制高等学校と連携して高等教育を行い、高等学校卒業資格を得ることができます。このように、進学する学校のスタイルは多様化しており、適切に情報収集を行うことで、自分にあった学校を見つけることができます。

2. 就職

就職する場合には、ハローワーク(公共職業安定所)を利用する場合と縁故(家族や知り合い)を利用する場合の2つが考えられます。今年度のハローワークにおける新規中学校卒業者の求人申し込みの受理は、令和6年6月1日から開始されました。また、推薦および選考開始日は、令和6年1月1日以降であり、採用内定の開始についても同日以降となっています。

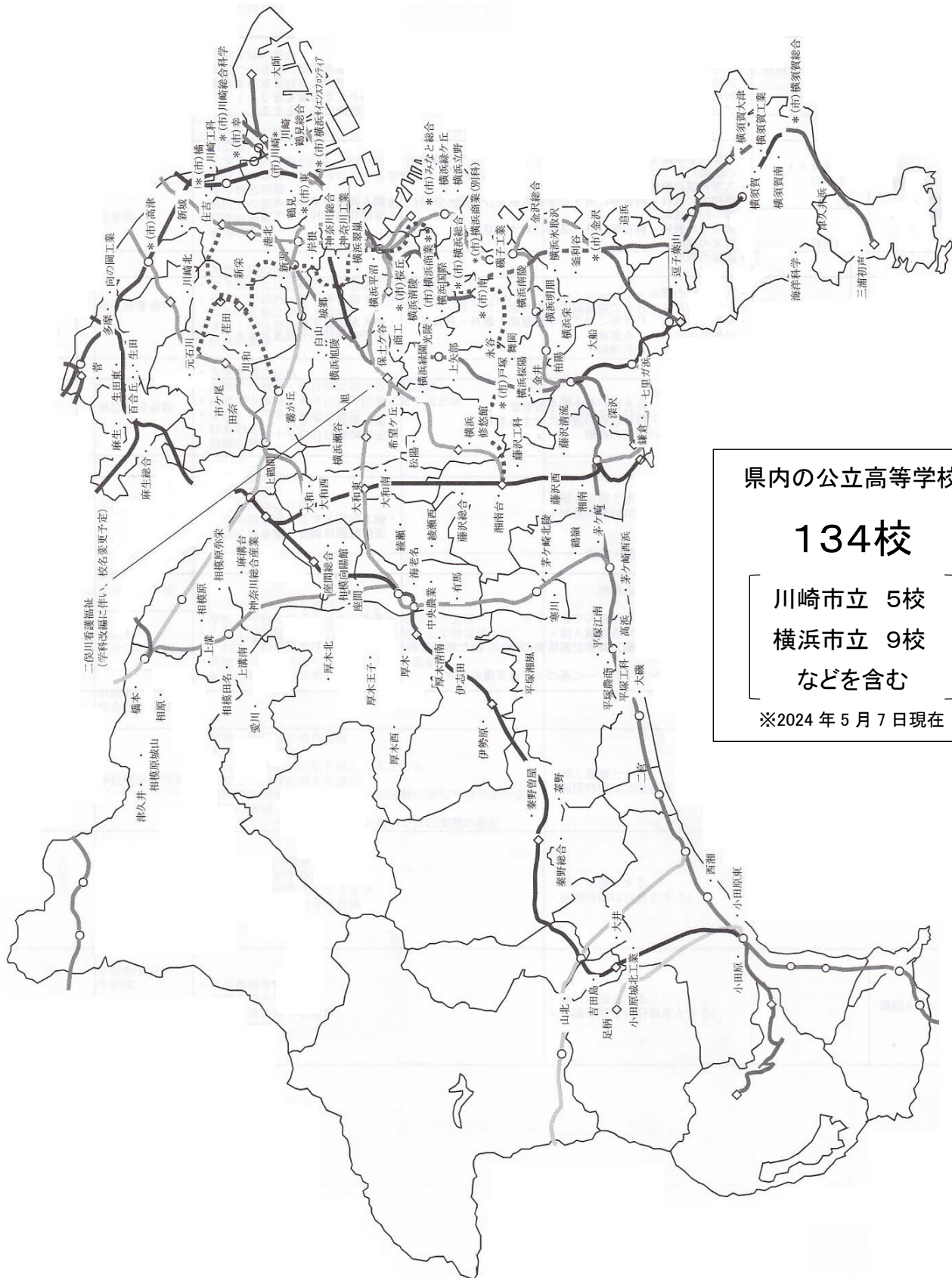
中学校卒業見込み者の求人数はかなり少なくなっており、職種も限られています。また、短期間でやめてしまう人が多いという事実もあります。このような現状から、就職を希望する場合には、家族や先生はもちろん、ハローワークの職員からも詳しく話を聴き、情報収集することが大切です。

また、職業訓練校で資格の取得や専門知識を身に付けて就職を目指す方法もあり、就職できる可能性を上げることができます。しかし、応募条件を「高卒以上」としている企業がほとんどであり、職業訓練を受ければ必ず就職できるというわけではありません。

公立高等学校について

神奈川県公立高等学校の所在地（概略）

※令和7年4月1日時点の見込



神奈川県公立高等学校入学者選抜

全日制の課程、定時制の課程および通信制の課程のすべての学校で**共通選抜**を実施し、1校だけ志願することができます。また、定時制の課程および通信制の課程の学校では、**定通分割選抜**も実施します。

全日制および定時制では、クリエイティブスクールを除くすべての高校で「学力検査」「調査書の評定(2,3年)」の2つの資料を100点満点に換算し、各校が定めた係数(比率)を乗じてS値(1000点満点)を算出し、合否を決定しています。また、調査書と学力検査のうち一部の教科について重点化する高校があります。

(例)市ヶ尾高校は調査書の音、美、保体、技・家のうち点数の高い1教科を2倍する…など)

高校によっては特色検査(実技検査、自己表現検査、面接のいずれか)を実施しています。特色検査の比率はそれぞれの高校により異なり、S値は最大1500点満点になります。

以下、令和7年度神奈川県公立高等学校入学者選抜「募集案内」より抜粋

	全日制	定時制	通信制	
共通選抜の機会	募集	募集人員は募集定員の100%とします。	募集人員は募集定員の80%とします。 夜間以外の定時制は募集定員の100%とします。	
	志願	一つの課程・学科・コース等に志願します。志願変更ができます。 インターネット出願システムで行います。		
	検査	【共通の検査】(*1)(☆) 学力検査(原則5教科) 特色検査を実施する場合は3教科にまで減じる場合があります。	【共通の検査】(☆) 学力検査(原則3教科) 理科・社会を実施する場合があります。	【共通の検査】 作文
	特色検査(実技検査・自己表現検査・面接)を実施する場合があります。			
	選考	【第1次選考】募集人員の90%まで、調査書の評定(2・3年)(*2)と実施した検査の結果をもとに定められた数値算出の方法(※)で選考します。 【第2次選考】調査書の各教科における第3学年の「主体的に学習に取り組む態度」の評価と実施した検査の結果をもとに定められた数値算出の方法(※)で選考します。 (*3)		調査書と実施した検査の結果をもとに総合的に選考します。
<p>☆ 共通の検査の学力検査(外国語(英語))においては、全日制・定時制ともにリスニングテストを実施します。</p> <p>特別な設置趣旨の学校について</p> <p>*1 クリエイティブスクール(県立田奈高等学校、県立釜利谷高等学校、県立横須賀南高等学校の普通科、県立大井高等学校および県立大和高等学校)は、学力検査を行いません。</p> <p>*2 クリエイティブスクールは、調査書の評定は使わず、観点別学習状況評価を活用します。 フロンティアスクール(県立横浜明朋高等学校および県立相模向陽館高等学校)でも、調査書の評定は使わず、必要に応じて観点別学習状況を活用し総合的に選考します。</p> <p>*3 県立横浜国際高等学校では選考方法が異なります。国際科(国際バカロレアコースを除く。)および国際科国際バカロレアコースの選考方法について、9ページの基本事項Q&Aや17ページの選考基準を参考にしてください。</p>				
定通分割選抜の機会	募集	共通選抜の募集人員を差し引いた人員を募集(共通選抜の募集人員を満たしていない人員も加えます。)		
	志願	一つの課程・学科に志願します。 志願変更ができます。志願には願書等を提出します。		
	検査	【共通の検査】 学力検査(3教科)	【共通の検査】 作文	
	選考	特色検査を実施する場合があります。		調査書の評定(2・3年)と実施した検査の結果をもとに定められた数値算出の方法により選考します。
<p>【共通選抜の二次募集】 欠員がある場合、必要に応じて実施します。 学力検査(3教科)を実施し、特色検査のうち面接を行う場合があります。 調査書と実施した検査の結果をもとに、総合的に選考します。</p>				

※ 数値算出の方法

第1次選考では、調査書の評定(A)と学力検査の得点(B)をそれぞれ100点満点に換算した(a)、(b)をもとに、各学校が定めた比率(f、g)に基づき合計数値を算出します。(f、gは、それぞれ2以上の整数とし、f+g=10を満たすよう設定されます。)特色検査を実施した場合は、その結果(D)を100点満点に換算した(d)をもとに、各学校で定めた比率(i)を乗じた数値を加えます。(iは1以上5以下の整数とします。)

【第1次選考】 $S_1 = (a \times f) + (b \times g)$

特色検査を実施した場合 $S_1 = (a \times f) + (b \times g) + (d \times i)$

募集定員の
90%を選考

調査書の評定(A)の算出方法

(2年生の9教科の評定の合計) = 5点×9 = 45点満点

国語	社会	数学	理科	音楽	美術	体育	技・家	英語	2年の評定
5	5	5	5	5	5	5	5	5	45点満点

(3年生の9教科の評定の合計) × 2 = (5点×9) × 2 = 90点満点

国語	社会	数学	理科	音楽	美術	体育	技・家	英語	3年の評定
5	5	5	5	5	5	5	5	5	45×2=90点満点

(調査書の評定A) = 45点 + 90点 = 135点満点

川崎市内公立高等学校における共通選抜1次選考の比率 (令和7年度入学者選抜)

高校名/学活	調査書の評定(f)	学力検査(g)	特色検査(i)
神奈川県立 麻生高等学校 普通科	5	5	
生田高等学校 一般コース	5	5	
生田東高等学校 普通科	4	6	
川崎高等学校 単位制普通科	5	5	
川崎北高等学校 普通科	5	5	
新城高等学校 普通科	5	5	
菅高等学校 普通科	5	5	
住吉高等学校 普通科	4	6	
大師高等学校 単位制普通科	5	5	
多摩高等学校 普通科	4	6	2 (自己表現)
百合丘高等学校 普通科	5	5	
川崎工科高等学校 総合技術科	6	4	
向の丘工業高等学校 機械科、建設科、電気科	4	6	
川崎市立 川崎高等学校 生活科学科、福祉科	6	4	5 (面接)
川崎市立 幸高等学校 普通科	5	5	
川崎総合科学高等学校 情報工学科、総合電気科、電子機械科	5	5	3 (自己表現) 4 (実技)
建設工学科	5	5	
デザイン科	5	5	
川崎市立 高津高等学校 普通科	5	5	
川崎市立 橘高等学校 普通科、国際科	4	6	2 (面接)
スポーツ科	5	5	5 (実技)

第2次選考では、学力検査の得点(B)を100点満点に換算した(b)と、調査書の各教科における第3学年の「主体的に学習に取り組む態度」の評価について、評価Aは3、評価Bは2、評価Cは1に換算し、その合計値(C)を100点満点に換算した(c)をもとに、各学校で定めた比率(g、h)に基づき合計数値を算出します。(g、hはそれぞれ2以上の整数とし、g+h=10を満たすよう、改めて設定されます。)

【第2次選考】 $S_2 = (b \times g) + (c \times h)$

特色検査を実施した場合 $S_2 = (b \times g) + (c \times h) + (d \times i)$

(iは1以上5以下の整数とし、改めて設定されます。)

募集定員の
10%を選考

定通分割選抜においては、第1次選考と同様に、 $S = (a \times f) + (b \times g)$ または $S = (a \times f) + (b \times g) + (d \times i)$ により算出します。

特別募集について

以下の志願資格に該当する場合は、特別募集で受検することができます。

特別募集

海外帰国生徒特別募集

海外に長期滞在中をして帰国または帰国予定の受検生を対象とした募集です。

在県外国人等特別募集

神奈川県内に在住で外国籍を持っている、または日本国籍を取得した受検生を対象とした募集です。

インクルーシブ教育実践推進校特別募集

知的障害のある受検生を対象とした募集です。

志願資格

- ★ 全日制の課程の志願資格を満たしている人
- ★ 原則として、保護者の勤務等の関係で、継続して2年以上外国に在住して帰国した日が令和4年4月1日以降の人(県立神奈川県総合高等学校の後期募集の場合は、令和4年10月1日以降に帰国した人)

以上の条件をすべて満たす人

- ★ それぞれの課程の志願資格を満たしている人

- ★ 外国の国籍を有する人(難民と認定された人を含む。)または日本国籍を取得して6年以内の人で、いずれの場合も、入国後の在留期間が通算で6年以内の人(令和7年2月1日現在)※2

以上の条件をすべて満たす人

- ★ 全日制の課程の志願資格を満たしている人

- ★ 知的障害のある人
- ★ 高等学校での学習や生活について理解し、入学意欲のある人以上の条件をすべて満たす人

実施校

【県立(全日制)】

- ・神奈川県総合高等学校(単位制普通科国際文化コース)※1
- ・横浜国際高等学校(単位制国際科)(単位制国際科国際バカロレアコース)
- ・新城高等学校(普通科)
- ・相模原弥栄高等学校(単位制普通科)
- ・西湘高等学校(普通科)
- ・鶴嶺高等学校(普通科)
- ・伊志田高等学校(普通科)

【市立(全日制)】

- ・横浜市立東高等学校(単位制普通科)

※1 県立神奈川県総合高等学校では、後期募集(7月)も実施します。

※2 日本における学齢期以降(小学校第1学年以降)で計算します。

【県立(全日制・定時制)】

- ・鶴見総合高等学校(単位制総合学科)
- ・横浜清陵高等学校(単位制普通科)
- ・新栄高等学校(普通科)
- ・川崎高等学校(単位制普通科)
- ・大師高等学校(単位制普通科)
- ・橋本高等学校(普通科)
- ・相模原弥栄高等学校(単位制普通科)
- ・高浜高等学校(普通科)
- ・藤沢総合高等学校(単位制総合学科)
- ・大和南高等学校(普通科)
- ・伊勢原高等学校(普通科)
- ・座間総合高等学校(単位制総合学科)
- ・愛川高等学校(普通科)
- ・横浜明朋高等学校(単位制普通科午前部・午後部(定時制))
- ・相模向陽館高等学校(単位制普通科午前部・午後部(定時制))

【市立(全日制・定時制)】

- ・横浜市立みなと総合高等学校(単位制総合学科)
- ・横浜市立横浜商業高等学校(国際学科)
- ・横浜市立横浜総合高等学校(単位制総合学科Ⅱ部(定時制))
- ・川崎市立川崎高等学校(普通科昼間部(定時制))

【県立(全日制)】

- ・城郷高等学校(普通科)
- ・横浜南陵高等学校(普通科)
- ・保土ヶ谷高等学校(普通科)
- ・霧が丘高等学校(普通科)
- ・白山高等学校(普通科)
- ・上矢部高等学校(普通科)
- ・川崎北高等学校(普通科)
- ・菅高等学校(普通科)
- ・橋本高等学校(普通科)
- ・上鶴間高等学校(普通科)
- ・津久井浜高等学校(普通科)
- ・湘南台高等学校(普通科)
- ・茅ヶ崎高等学校(普通科)
- ・厚木西高等学校(普通科)
- ・伊勢原高等学校(普通科)
- ・足柄高等学校(普通科)
- ・綾瀬高等学校(普通科)
- ・二宮高等学校(普通科)

志願

一つの募集の課程・学科・コース・部に志願します。

面接シートを提出する学校もあります。なお、インクルーシブ教育実践推進校特別募集面接シートを提出します。

志願変更は一般募集との間でもできます。ただし、それぞれの募集に係る志願資格を満たしている人に限ります。

検査

学力検査(外国語(英語)、国語、数学)、作文および面接

※ 県立横浜国際高等学校国際科国際バカロレアコースにおいては、特色検査(自己表現検査)を実施します。

学力検査(外国語(英語)、国語、数学)および面接

面接

選考

調査書と実施した検査の結果をもとに総合的に選考します。

実施した検査の結果をもとに総合的に選考します。

公立高等学校の受検料等の額（令和7年度入学生予定額）

(1) 受検料

区分	県立	横浜市立	川崎市立	横須賀市立
全日制の課程	2,200円	2,200円	2,200円	2,200円
定時制の課程	950円	650円	950円	950円
通信制の課程	無料			

(2) 入学料

区分	県立	横浜市立	川崎市立	横須賀市立
全日制の課程	5,650円	5,650円	5,650円	5,650円
定時制の課程	2,100円	1,200円	2,100円	2,100円
通信制の課程	無料			

※ 経済的な理由で支払が困難な方に対し、受検料、入学料の全部または一部を免除する制度があります。(36ページを参照)

※ 共通選抜において、出願サイトを通じて受検料及び入学料をオンライン決済する場合、システム利用料が別途かかります。

(3) 授業料

区分	県立	横浜市立	川崎市立	横須賀市立
全日制の課程	(年額)118,800円	(年額)118,800円	(年額)118,800円	(年額)118,800円
定時制の課程	(年額)32,400円	(年額)32,400円	(年額)32,400円	(年額)32,400円
通信制の課程	1単位350円 (平日登校履修は 1単位700円)			

公立高等学校の就学支援金制度の概要

(内容については改定する場合がありますので事前に確認してください。)

公立高等学校は原則として授業料を徴収しますが、申請の手続をすることにより、授業料の負担がなくなる場合があります。

○ 対象となる方

以下の算定式により計算した額が、30万4,200円未満（年収910万円程度未満）の世帯の生徒
【算定式】(市町村民税の)課税標準額×6%－(市町村民税の)調整控除の額
 (ただし政令指定都市は、調整控除の額に3/4を乗じる)

○ 支給額

全日制：(年額)118,800円 定時制：(年額)32,400円

通信制：1単位336円

※ 生徒は授業料を納めることなく、学校が生徒に代わって国より就学支援金を受領し、授業料に充てます。(実際に支給額が支給される制度ではありません。)

※ 通信制については、受講料の納付後、年度末に還付します。

○ 手続について

入学する各高等学校で合格発表時にお知らせ等を配付します。

申請は、高等学校等就学支援金オンライン申請システムにより、入学する各高等学校へ申請します。

◇ 対象となる方は必ず手続をしてください。手続が行われないと授業料をご負担いただきます。

○ 問合せ先 各高等学校の事務室

または 県教育委員会財務課財務指導グループ TEL (045)210-8113(直通)

※ 手続は各高等学校で行います。

私立高等学校について

私立高等学校はそれぞれが個性的です。各学校はそれぞれの教育目標があり、日々その実現をめざして学習や生活、学校行事などが行われます。そうした**各学校の多様な個性や雰囲気**を「校風」と言い、**自分にとって適切な校風の学校を選ぶことが私立高等学校を選ぶ上でのポイント**になり、入学後の高校生活を楽しく充実したものにしてくれます。

私立高等学校は、公立高等学校以上に学校ごとに様々な特色があり、建学の精神に基づいた教育理念や方針は日々の教育やカリキュラムに反映されています。また、男子校や女子校、大学附属校などがあり、施設・設備が充実している学校が多くあります。

入試制度の面でも学校ごとに特色が異なります。主な入学者の選抜方法は以下の通りです。

入試の種類とその内容

入試の種類	内容
推薦入試	推薦 私立1校のみ受験し、合格したら必ずその高等学校に入学します。中学校長からの推薦が必要です。多くの場合、面接や作文などの試験と調査書で選考されます。
一般入試	単(専)願 私立1校のみ受験し、合格したら必ずその高等学校に入学します。学力試験や面接、調査書などで選考されます。
	併願 第1志望の高等学校が不合格だった場合に入学することを前提として受験します。学力試験や面接、調査書などで選考されます。
	オープン 学力試験で選考されます。

上記以外にも、調査書の評定などで選抜される書類選考入試など、様々な入試制度があります。また、学費が全額または一部免除になる特待生制度がある私立高等学校もあります。

私立高等学校の中には、推薦入試、一般入試(単(専)願、併願)ともに調査書の評定について出願基準を設けているところが多くあります。出願基準は3教科や5教科、9教科の評定など、学校により様々です。また、英検、漢検、数検などの一定以上の資格を優遇する学校もあります。

学費支援制度等について

神奈川県では私立高等学校等に在学する生徒の保護者等の経済的負担を軽減するため、返還不要の入学金・授業料の補助を行っています。

高等学校等就学支援金および私立高等学校等生徒学費補助金について

各制度の補助額	授業料補助		入学金補助	令和6年度(年額)
	■ 高等学校等就学支援金(国)	□ 学費補助金(県)	□ 学費補助金(県)	
生活保護～住民税非課税世帯	396,000円 (通信制 297,000円)	+ 72,000円 (通信制 171,000円)	211,000円	授業料 468,000円 入学金 211,000円
270万円～590万円未満	396,000円 (通信制 297,000円)	+ 72,000円 (通信制 171,000円)	100,000円	授業料 468,000円 入学金 100,000円
590万円～700万円未満	118,800円	+ 349,200円	100,000円	授業料 468,000円 入学金 100,000円
700万円～750万円未満	118,800円	+ 74,400円	100,000円	授業料 193,200円 入学金 100,000円
多子世帯	118,800円	+ 349,200円	100,000円	授業料 468,000円 入学金 100,000円
750万円～910万円未満	118,800円			授業料 118,800円
多子世帯	118,800円	+ 349,200円		授業料 468,000円

(授業料)

年収**700**万円未満の世帯まで
授業料が実質無償化 **最大 468,000円**

多子世帯で
年収**910**万円未満の世帯まで
授業料が実質無償化 **最大 468,000円**

(入学金)

非課税世帯まで
入学金の実質無償化 **最大 211,000円**



※モデル世帯…両親・高校生・中学生の4人家族で、両親の一方が給与所得者として働いている世帯 ★詳細は
 ※多子世帯…23歳未満の扶養している子どもが3人以上いる世帯
 ※学費補助金(県)については生徒・保護者等ともに県内在住の生徒が対象です。
 ※年収はあくまで目安です。審査内容は右記のリーフレットをご確認ください。

【令和6年度 私立高等学校等学費支援】のリーフレットをご確認ください。
 【問合せ先】神奈川県私学振興課
 TEL. 045-210-3793 (平日 8:30~12:00、13:00~17:15)

4 進路選択を始めるにあたって

中学校3年生になると、本格的に卒業後の進路について考え始めます。自分にあった進路選択をするために、次のように行動していきましょう。

1. 自分の適性を考える

興味や関心、特技など、自分に合い、やりたいことが実現できる進学先を通学可能な範囲内から探し、ピックアップしていきましょう。

2. 情報を収集する

気になる学校をピックアップしたら、それらの学校に関する情報（通学時間や通学手段、教育目標、カリキュラム、施設・設備、部活動、学校行事、学力、学費、卒業後の進路状況など）を調べましょう。各学校のホームページから多くの情報を得ることができます。また、中学3年生に進級したら、受験ガイドなどの本で情報収集することもおすすめします。

高校の選び方がわからない人へ

購入する場合は、2026をご購入ください

晶文社「高校受験案内」

創刊65年目を迎える本です。はじめて高校受験を迎える方におすすめします。高校の情報が半ページから1ページにまとまって掲載されています。

公立高校については、昨年度の選抜方法、応募状況、合格のめやす、併願校の例などが掲載されています。

私立高校については、応募状況、入試日程、昨年度の推薦・併願の内申基準などが掲載されています。



3. 実際に行って見る

中学3年生になったら、学校見学・説明会や体験授業（部活動体験）などに参加しましょう。自分の目で学校や先生方、通っている生徒の様子を必ず見て、その雰囲気を感じてきてください。進学後に通う自分の姿を想像し、自分が納得した上で進学先を選択するようにしましょう。また、合同説明・相談会など、1つの会場で複数の高等学校の説明を聞いたり、相談したり、資料を収集したりする機会もあります。

最後に

進路は中学生にとって、自分の力で未来を切り拓く初めての機会になります。進路のことを考えると、不安になったり、気持ちが焦ったりする人も出てくるでしょう。しかし、必要以上に考えすぎことは控えてください。

生徒のみなさんに大切にしてほしいことは「今、自分が取り組んでいるすべてのことにベストを尽くす」ことです。勉強はもちろんのこと、学校行事や部活動、委員会活動など、今、取り組んでいるすべてのことが、「将来=進路」へとつながっています。中学校生活の中で「自分はこれを頑張った」と胸を張って言えるものを見つけてください。努力して最後までやり遂げた経験は、必ず自信へと変わり、学習面にも良い影響を与えます。

保護者の皆様へ。進路について、わからないことや相談したいことなどありましたら、担任や学年職員にお気軽にお声がけください。お子様の進路選択がより良いものになるよう、職員一同、精一杯努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。